

なるせダムニュース

平成27年1月 第27号



年頭の挨拶

成瀬ダム工事事務所長 小松 寿

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

地域の皆様には、国土交通行政、とりわけ「成瀬ダム建設事業」に対しまして、日頃よりご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「成瀬ダム建設事業」でございますが、昨年度まで湯沢河川国道事務所所管で進められておりましたが、事業を一層着実に進めていくため、昨年4月1日付けをもちまして「成瀬ダム工事事務所」として独立し新たにスタートを切ったところでございます。

「成瀬ダム建設事業」につきまして改めてご紹介いたしますと、「洪水調節」「流水の正常な機能の維持」「かんがい用水の補給」「水道水の供給」「発電」の5つの目的を持った多目的ダムで、平成9年の建設着手から今年で19年目を迎えます。

工事の進捗状況につきましては、これまで下流工事用道路としての「岩井川バイパス」や転流工が完成し、国道342号につきましても付替区間の概ね半分が完了し供用されております。現場は最大積雪深が3mを超える豪雪地帯で、工事の施工期間が限られるなど環境としては非常に厳しいところでございますが、近年、洪水被害や濁水被害が頻発している状況から、早期にダム本体工事に着工できるよう職員一丸となって引き続き努力してまいりますので、なお一層のご理解ご協力を申し上げます。

最後に、地域の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしく願いたします。

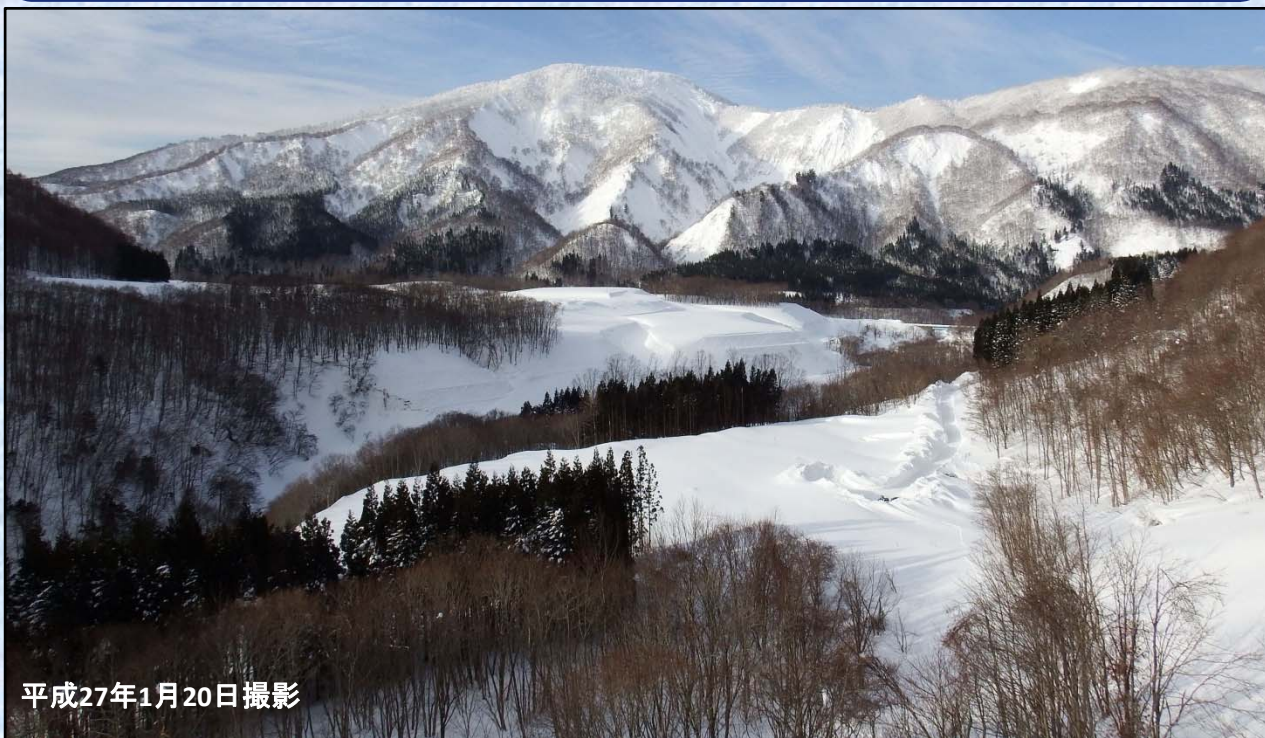
平成27年度政府予算案を閣議決定！

政府は1月14日、一般会計の総額で6兆3420億円の平成27年度年度予算案を閣議決定しました。

当予算案において、成瀬ダム建設事業費としては、22億500万円が盛り込まれています。成瀬ダムでは、当予算により引き続き付替道路工事や工事用道路工事等を進めていく予定としております。



平成27年1月 雪景色の建設現場



平成27年1月20日撮影

平成26年に続き、今年も大雪の状況です。平成27年1月20日現在のダムサイト付近の積雪深は218cmとなっており、昨年とほぼ同様の積雪となっています。そんな中、晴れ間が見られた21日に夢仙人大橋から赤滝広場付近を撮影した雪景色です。



施工現場報告



成瀬ダムでは現在、水位計の設置工事を行っていますので紹介いたします。

水位計とは、成瀬川の水位を計測するために設置するもので、成瀬川の水量を計測するための大切な施設となります。

【※川の水量は、水位計が設置される川の断面や勾配、平均流速(川の流れる速度)を測定しておき、計測した水位により算定します】

このため、洪水の時などでも流失しないよう、しっかりした構造とし、コンクリートにより水位計(センサー式)や量水標を固定する必要があり、川の水量が少ない冬期間に施工することが多い工事です。成瀬ダムでは、ダムサイト下流で転流工の影響がない箇所を選定し、設置工事を行っています。



お問い合わせ先

※ 現場見学を希望する方は事前に下記までお申し込みください。
なお、対象は団体とさせていただきます。(積雪期間は見学出来ません)

発行 国土交通省 成瀬ダム工事事務所 調査設計課

〒012-0862 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

TEL 0183-73-4026(代表)

FAX 0183-73-4028

成瀬ダム工事事務所 HPアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>